

建設業就職内定者研修会

対象者(参加者)

建設業界に就職予定の三重県内高校生（22名）

イベント内容

研修を通して、社会人としての自覚と建設業で実際に行う仕事の内容について学ぶ。

- I. 学生から社会人へ ～社会人の始め方～
高校生と社会人との違いを明確にすることで、社会人としての基本姿勢や考え方を理解し、高校生活の終わり方や社会人としてのステップアップを試みる。
さらに、社会人としての基本ルールである身だしなみ、挨拶、名刺交換、電話対応、接客などについてその意味や意義を理解し、就職後の不安の解消に取り組む。
- II. 建設業で働くこと ～建設業で使うことば、服装～
建設企業では、どのような仕事を行っているのか、現場での仕事の流れはどのようになっているのか等についての説明。
さらに、現場で使うことばやその意味、服装などについても説明し、就職後の戸惑い解消に努める。
- III. コミュニケーションのある話し方 ～できる人の言葉づかい～
建設現場ではコミュニケーションが安全な作業をおこなう上で重要である。できる人の言葉づかいや敬語の使い方などの理解を深め、就職後の孤立感の解消に努める。
- IV. 現場の労働安全 ～安全作業～
危険を伴う職場（現場）への認識を深め、安全確保の基本動作などについて理解を深め、安全意識の高揚に努める。
- V. プロ意識 ～資格取得と将来のすがた～
建設業における資格取得の実情について理解し、将来どの資格を取得しプロとして活躍しているか将来のすがたを思い浮かべることで、プロ意識の高揚に努める。

イベント趣旨

建設業に就職内定している高校生に対し、社会人としてのマナーや仕事の内容などについて研修し、就職に対する不安の解消に努める。

建設業の仕事を理解することで早期の離職防止につなげる。

建設業就職内定者研修会

開催日：平成29年3月24日

開催場所：三重県総合文化センター内 レセプションルーム

主催者等：（一社）三重県建設業協会

